家庭生活（住生活）

整頓スキルの習得

川西高等特別支援学校　西　徳子

本実践のねらい・目標

①自分の生活に合った整頓の仕方を見付ける。
②仲間の良さを自分の「整頓」に取り入れる。
③衣類仕分けの楽しさ・すっきり感を味わう。

生徒・保護者の実態

①家庭での取組に個人差がある。保護者のニーズの多様化。

②整頓スキルの不足

③整頓の必要性？（すっきり感の体験不足）

授業の工夫①

◎グループ分け
（事前アンケート）

↓

実態から４つのグループに再編成
（取組の差によって）

授業の工夫②

◎仕分け用小物の準備
◎たたみ方の例の紹介

選択

授業の工夫③

・グループごとに発表

↓

・他のグループの整頓の仕方を知る。アドバイスをもらう。

↓

改善（スキルアップ）

成果と課題

＜生徒の振り返りより＞
・いろいろなやり方を知り、自分に合ったやり方の選択ができた。
・仲間の良さに気付き、さらに整頓を工夫し、すっきりした。

・保護者の協力による継続した家庭での実践が必要。